

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	平成29年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会(第1回在宅医療・介護連携推進部会)
開催日時	平成29年8月24日(木) 午後2時から
開催場所	新川福祉センター2階 集会室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 委嘱状伝達 4 委員紹介 5 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱について 6 部会長の選出について 7 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)在宅医療・介護連携推進事業について (2)「きよすレインボーネット」の運用について 8 その他 9 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱 在宅医療・介護連携推進事業項目(資料1) 在宅医療・介護連携の推進(別添資料1) 「きよすレインボーネット」の運用について(資料2) 「きよすレインボーネット」利用の手引き(別添資料2)
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数(公開した場合)	1人
出席委員	加藤(裕)委員、加藤(高)委員、山口委員、神谷委員、 加藤(武)委員、室田委員、鹿山委員
欠席委員	なし
出席者(オブザーバー)	西名古屋医師会在宅医療サポートセンター コンダクター 原田 好美
出席者(市)	福田健康福祉部長
事務局	(清須市役所高齢福祉課) 森川高齢福祉課長、木全課長補佐、酒井副主幹、幸村係長、 岩田主査 (清須市社会福祉協議会) 地域包括支援センター 柴垣管理者、飛永主査
1 開 会 ●事務局	ただいまから「平成29年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会 第1回在宅医療・介

「護連携推進部会」を始めさせていただきます。私は、本日の進行役を務めさせていただきます。高齢福祉課長の森川と申します。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただく事項といたしまして、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますのでよろしくお願いいたします。

本日の傍聴者は、1名おみえになりますので、よろしくお願いいたします。

2 あいさつ

●事務局

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。

まず、はじめに、開会に当たりまして健康福祉部長の福田より、ご挨拶を申し上げます。

[福田健康福祉部長から挨拶]

3 委嘱状伝達

●事務局

続きまして、次第3の委嘱状の伝達でございますが、本来は市長が委員の皆様にお渡しさせていただくところですが、他の公務が入っておりますので、机上でのご交付をもって委嘱状の伝達に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

4 委員紹介

●事務局

次に委員の紹介でございますが、お手元の委員名簿をもって委員紹介に代えさせていただきます。

今回の会議の議題は、在宅医療・介護連携の推進に関する事項を皆様に協議していただきますので、医師、歯科医師、薬剤師の先生方をはじめ、保健所、介護事業所の方々にご出席いただいております。

また、オブザーバーといたしまして西名古屋医師会在宅医療サポートセンターのコンダクターであります原田様にご出席いただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱について

●事務局

次に、次第の5、「清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱」について説明させていただきます。

[要綱の内容の説明]

6 部会長の選出について

●事務局

続きまして、次第6「部会長の選出について」に移らせていただきます。

[部会長は委員から事務局へ一任するとされたため、西名古屋医師会代表、ゆたかクリニック院長 加藤 裕 委員が選出]

7 議事

●事務局

それでは議事に入りますが、議事の進行につきましては、設置要綱第6条第4項の規定により、部会長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤（裕）部会長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

●加藤（裕）部会長

只今、部会長に任命されました加藤 裕です。よろしくお願いいたします。

はじめに、議事に入ります前に、本日の会議の会議録署名委員を指名させていただきます。加藤 高行委員と山口委員、よろしくお願いいたします。

それでは、会議次第7の（1）、在宅医療・介護連携推進事業について、事務局から説明をお願いします。

●事務局

〔資料に沿って説明〕

在宅医療・介護連携推進事業について（資料1、別添資料1）

●加藤（裕）部会長

ありがとうございました。

只今、資料1に沿って事務局から説明をいただきました。

委員の皆様から、ご意見やご質問はございますでしょうか。

〔意見なし〕

●加藤（裕）部会長

在宅医療と介護の連携ということで、西名古屋医師会在宅医療サポートセンターの原田さん、現在の進捗状況などお話しいただけますでしょうか。

●原田氏（オブザーバー）

尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会で今一番力を入れて取り組んでいるものが、尾張中部医療圏多職種連携研修会です。この研修会は他の地域では中々無い取組みで、多職種の方々に満遍なく参加いただくことができます。

これまでは外部から有名な先生を講師としてお招きしていたんですが、今年度は、この部会の部会長でもあります加藤 裕先生に講師をしていただき、身近な先生に色々と取組みをお話いただいて、地元の事例について話し合う予定です。

また、ワーキング部会においても、レインボーネットを清須市のみならず、北名古屋市、豊山町とそれぞれどう取り組んでいこうかという事を皆さんで話し合いをしており、ワーキング部会にも多職種が参加しているので、その中でも多職種間での意見交換ができています。

●加藤（裕）部会長

多職種連携の研修会は私も出席させていただいておりまして、色々な立場からご意見をいただけて大変勉強になることが多いと感じています。

介護事業所の立場から何か感じることはありますか。鹿山委員。

●鹿山委員

医療と介護との連携ということで、私が知っているケースでも、例えば利用しているサービスの数が多いようなケースでは、ケアマネージャーを中心に調整が必要になってきます。

逆に利用しているサービスが少ないような方は、調整の必要性に迫られないものですから、連携の機会は少なくなってしまうのかなと思います。

●加藤（裕）部会長

ありがとうございます。

これから介護度が高い要介護4や5といった方が在宅が増えてくると、ケアマネージャーによる調整が非常に重要になってくると思います。

他にご意見よろしいでしょうか。

〔意見なし〕

●加藤（裕）部会長

では、次第7の（2）、「きよすレインボーネット」の運用について、事務局から説明をお願いします。

●事務局

〔資料に沿って説明〕

「きよすレインボーネット」の運用について（資料2、別添資料2）

●加藤（裕）部会長

ありがとうございます。

きよすレインボーネットは、高額な事業費を支払って導入しています。
多くの方に使っていただければ使っていただくほど価値が出るものですので、皆さんに活用していただきたいと思います。
今の事務局の説明に何かご質問等ありますでしょうか。

[意見なし]

●加藤（裕） 部会長

資料2の利用者の中に40代や50代の若い方がみえますが、これは介護保険の2号被保険者の方というように理解してよろしいでしょうか。

●事務局

その通りです。

●加藤（裕） 部会長

実際にレインボーネットを使われている方の印象はどうか。
使いにくい点、改善した方がよい点などありませんか。

●室田委員

訪問看護の立場からレインボーネットを活用したいと思っても、かかりつけ医の理解が得られなかったり、ケアマネジャーの事業所も管理者の人は登録しているけど、直接担当する人が登録を個々でしていないとか、登録をしていたとしても、普段レインボーネットで連絡のやりとりをする習慣がなく、端末を見る機会が少ない。

書き込みをしても暫く反応がないと結局電話をするようになっていたり、そういったことの積み重ねで、利用によるメリットを感じる経験がまだ皆さんどうしても少ないのかなと思います。

また、我々の事業所が旧西枇杷島町にある関係もあって、名古屋市の病院がかかりつけですという利用者が多いので、現在の仕組みではそういった利用者を患者として登録できず、活用したくてもできないケースが多いです。

他に、自分がレインボーネットの活用を発案すると、市役所への連絡や患者に同意書を貰ったり、かかりつけ医や他の介護事業所に説明して理解を得るの必要があり、皆さん理解度やモチベーションは様々なので、結局スタートさせるまでの負担が大きいと感じます。

●加藤（裕） 部会長

ありがとうございました。

主治医の理解が得られないという点について、私共を含めて医師には比較的アナログな人間が多いものですから、なかなかデジタルなものについていけないことがあります。

最近、若い先生方が増えてきているので、もう少し時間が経てばデジタルな物に対する抵抗が解消されていくのではないかなと思います。

在宅で生活する人を支援していく場合、医療的なサポートも勿論なんですけど、それ以上に場合によっては必要になるのは生活面のサポートになってきますので、医療・看護・介護、これをバランス良く橋渡ししていくためにケアマネジャーが計画を立てながら進めていくということを考えると、今回のテーマのキーになるのはケアマネジャーの方かなと感じます。加藤（武）委員どうでしょうか。

●加藤（武） 委員

8月2日にケアマの会きよすの意見交換会を実施し、その中でもレインボーネットを積極的に活用してくださいというアナウンスはさせていただいています。

やはり、触ること自体に抵抗があるといったアナログ的な感覚の方もケアマネジャーの半分くらいはいて、個人情報扱うのでセキュリティを厳しくせざるを得ないのは当然だとは思いますが、厳しすぎて扱えづらくなってしまっている。

また、記録を残すと言っても、例えば支援計画といった記録を作成して、更にレインボーネットにも同じことを書き込みをするというように二度手間になってしまうという意見もあります。

最初のハードルを高くせざるを得ないといった事情も分かるんですけど、アナログ感覚の人にも分かりやすい、入りやすい仕組み作りをしてもらえると良いかなと思います。

●加藤（裕）部会長
ありがとうございます。
はじめの一步がなかなか出せないという問題がお二人から出ていますので、事務局におかれましてはなるべく敷居を下げようなものにしていただけるように、2市1町で取り組んでいただくと良いのかなというように思います。
その他に何かご質問やご意見ありますでしょうか。

●加藤（高）委員
レインボーネットは稲沢市では同じようなシステムはあるのでしょうか。

●事務局
平成27年7月に在宅医療・介護連携推進事業を開始していますが、清須市と同じようなシステムを使用したものかは分かりません。

●加藤（裕）部会長
例えば、清須市の住民の方が稲沢市の介護事業所を利用されている場合に、その事業所は清須市のレインボーネットに登録することは可能ですか。

●事務局
現在の規約では、利用できる医療機関が西名古屋医師会、西春日井歯科医師会、西春日井薬剤師会の会員となっておりますので、稲沢市の医療機関は利用できませんが、介護事業所については、清須市民が利用している事業所であればどこでも登録できます。

●加藤（裕）部会長
その他、ご意見はありませんか。
神谷委員、他の自治体の取組みなども見てみえると思いますが、何かご意見がありましたらお願いします。

●神谷委員
私は今年度からこの地域に就かせていただいておりますが、本当に皆さん連携をとられていると感じているところです。
ただ、まだ移行期ということもありますので、今年度、取り組みに力を入れ、振り返りつ平成30年からまたスタートが切れればと思うのが一点。
もう一点は、2025年には75歳以上の高齢者が本当に増えてしまうということで、連携の中身について、例えばレインボーネットについてどのようにするともっと連携を密に取れるかなど、協議会では2市1町の広域的な事を検討し、各市町のそれぞれの会議では各々の個別の課題などを抽出ができていければ良いなと思っております。

●加藤（裕）部会長
その他、ご質問やご意見よろしいでしょうか。

[意見なし]

8 その他

●事務局
貴重なご意見を色々いただきましてありがとうございました。
次回の在宅医療・介護連携推進部会を来年の2月か3月頃に開催したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

●加藤（裕）部会長
予定されていた議事につきましては、すべて終了いたしました。
委員の皆様、たくさんのご意見をいただきましてありがとうございます。
これをもちまして、平成29年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会 第1回在宅医療・介護連携推進部会を閉会いたします。

9 閉会（午後3時）

問い合わせ先

健康福祉部 高齢福祉課

052-400-2911 内線1416、1452